

用語解説

設備容量

発電設備における単位時間当たりの最大仕事量。「定格出力」「設備出力」あるいは単に「出力」と表現されることもある。^{※1}

設備利用率

発電設備の総供給設備容量に対する発電電力量の比であり、設備がどのくらい有効に使われているかを表現する指標である。

設備利用率 = 年間発電電力量(kWh/年) / (年間時間数 (365 日×24 時間) ×設備容量(kW)) ^{※1}

平均的な太陽光発電（10kW以上）の設備利用率^{※2}

買取期間	設備利用率			
	10kW以上全体	1,000kW以上	1,000kW以上 -2,000kW以下	2,000kW以上
平成26年7月－ 平成27年6月	13.5%	14.6%	14.6%	15.2%
平成27年7月－ 平成28年6月	13.8%	15.1%	15.0%	16.3%
(参考)平成28年度 想定値	14%			

全天日射量

太陽から直接地上に到達する直達日射と、太陽光が大気中の粒子等により散乱・反射されて地上に届く散乱日射の和で、全天空からの日射を測定したものが全天日射量です。^{※4} この日射量は、太陽光発電の年間・月間発電量を推定することに活用できるとされています。^{※5}

想定累積発電量

設備容量、想定設備利用率（14%）からおおよその累積発電量を想定したものです。なお、設置場所ごとの日射条件や地域的な天候により、実際の発電量は想定発電量に対してずれが生じます。

参考文献

- ※1 環境省 平成21年度 再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査調査報告書 『第2章 用語の解説』（2010年3月）
<https://www.env.go.jp/earth/report/h22-02/>
- ※2 資源エネルギー庁 第25回 調達価格等算定委員会 『資料1 電源種別（太陽光・風力）のコスト動向等について』（2016年11月1日）
<https://www.meti.go.jp/shingikai/santei/025.html>
- ※3 資源エネルギー庁 第40回 調達価格等算定委員会 『資料3 太陽光発電について（事務局資料）』（2018年11月8日）
<https://www.meti.go.jp/shingikai/santei/040.html>
- ※4 気象庁 『日射・赤外放射について よくある質問』
https://www.data.jma.go.jp/gmd/env/radiation/faq_rad.html
- ※5 NEDO 『日射に関するデータベース』
<https://www.nedo.go.jp/library/nissharyou.html>

